

重点的に取り組んだ活動・内容

項目	実践状況											
<p>1 実践1 【ICTを活用した人権教育推進】</p>	<p>昨年度よりGIGAスクール構想の進展に伴い、本校では生徒1人1台にタブレットPCとMicrosoftアカウントが整備された。そこでMicrosoft teamsというアプリの機能を活用し、人権教育チャンネルを作成して、参考リーフレットや参考になる動画のリンクを紹介する等の啓発活動に努めた。</p> <p>成果 限られた授業時間等の中で、啓発活動を行うのは難しい側面があったが、ICT機器を活用することで時間や場所の制約を超えて、生徒の人権意識を高めることができた。特に近年重要な人権課題となっている、ジェンダーや性的マイノリティーに関する人権問題について、ニュース動画を活用して啓発することができた。</p>   <p>課題 より生徒の目に留まるよう、引き続き啓発活動を工夫して実施していきたい。</p>											
<p>2 実践2 【職員研修】</p>	<p>本校では5月と10月にQUアンケートを実施しており、その結果を分析して、各学級集団の共通理解を全教員で図るとともに、各学級や一人一人の生徒に対する適切な支援方法のあり方について、検討している。また、人権映画「ホーム」の視聴・性的マイノリティーへの理解を深める動画を活用した職員研修を実施した。</p> <p>成果 QUアンケートの活用方法に関する研修の実施により、QUアンケートの分析結果と生活アンケートの結果などを比較・検討し、多面的な視点で生徒理解を図ることができた。また、近年増加傾向にあり社会的な認知も高まっている、性同一性障害を抱える生徒への対応策・配慮のあり方について、茨城県作成の研修動画やYouTubeにアップロードされているニュース番組の視聴を行うことで、より理解を深めることができた。また、Microsoft formsを活用して事後研修も併せて実施した。</p> <p>4. もしも、担任する生徒に性的マイノリティーの生徒がいて、相談を受けてカミングアウトされた際、教職員としてどのように接するべきだと思いますか？</p> <table border="1" data-bbox="443 1355 885 1854"> <tr> <td>カミングアウトしたことに感謝を伝え、じっくり話を聞く。今までの出来事での悩みを受け止める。今後の生活への不安を聞き、一緒に考えてみる。</td> </tr> <tr> <td>否定せずに認めることを必ず行い、SOJハラスメントにならないように言動に気をつけて接していくべきだと思います。</td> </tr> <tr> <td>話を最後まで聞き、カミングアウトしてくれたことに対し、「ありがとう」と伝える。学校でどのような対応（服装や接し方など）を望んでいるかを一緒に考え、誰にカミングアウトしているかを確認する。性的な発言や言い回しに気を付ける。</td> </tr> <tr> <td>まずは職員間で連携する。職員間で対策を考える。</td> </tr> <tr> <td>本人の意志を尊重し、人権を傷つけないように接する。</td> </tr> <tr> <td>ソジハラになることをしないように気を付ける。本人の気持ちを受け入れる姿勢で接するまた、本人が望むことを確認しながら、辛さや生きにくさがあるならば、どうすればよいかを、本人・保護者と一緒に考えていく。</td> </tr> </table> <p>5. 今回の滑川先生のご講演や授業を通じての振り返りを、自由に記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="965 1355 1444 1854"> <tr> <td>性的マイノリティに関する書籍や掲示物などを目にする機会が多くなってきた。今まで数人ではあるが関わり合いを持ってきたことがある。相手の話を傾聴することでまずは関係を作っていかなければならないと思う。難しさがあるので、研修の必要性を感じる。</td> </tr> <tr> <td>将来的には、このようなアンケート等がなくなり「当たり前」になっていくことが大切なのではないかと感じた。</td> </tr> <tr> <td>性的マイノリティの生徒がいることが考えられるため、発言等に気をつけていきたい。</td> </tr> <tr> <td>LGBTについては知っていたが、SOGIは初めて知ったので、私自身も大変勉強になった。授業中だけでなく雑談も含め、改めて発言に注意していきたい。生徒の発達段階によっては、今回の話を受け入れにくい場合もあるので、様々な生徒を想定し、動画視聴する必要があると考えた。</td> </tr> <tr> <td>授業や生徒指導では、性的マイノリティは意識した対応をしていきたい。</td> </tr> </table> <p>課題 職員研修の機会が限られており、人権教育に関する研修が依然として不足していることが最大の課題であると考えます。特に、性的マイノリティの生徒に対する理解・配慮は急務であることから、生徒指導部とも連携し、校則の改正やジェンダーレス制服の採用等について検討し、多様性を尊重できる学校づくりをしていきたい。</p>	カミングアウトしたことに感謝を伝え、じっくり話を聞く。今までの出来事での悩みを受け止める。今後の生活への不安を聞き、一緒に考えてみる。	否定せずに認めることを必ず行い、SOJハラスメントにならないように言動に気をつけて接していくべきだと思います。	話を最後まで聞き、カミングアウトしてくれたことに対し、「ありがとう」と伝える。学校でどのような対応（服装や接し方など）を望んでいるかを一緒に考え、誰にカミングアウトしているかを確認する。性的な発言や言い回しに気を付ける。	まずは職員間で連携する。職員間で対策を考える。	本人の意志を尊重し、人権を傷つけないように接する。	ソジハラになることをしないように気を付ける。本人の気持ちを受け入れる姿勢で接するまた、本人が望むことを確認しながら、辛さや生きにくさがあるならば、どうすればよいかを、本人・保護者と一緒に考えていく。	性的マイノリティに関する書籍や掲示物などを目にする機会が多くなってきた。今まで数人ではあるが関わり合いを持ってきたことがある。相手の話を傾聴することでまずは関係を作っていかなければならないと思う。難しさがあるので、研修の必要性を感じる。	将来的には、このようなアンケート等がなくなり「当たり前」になっていくことが大切なのではないかと感じた。	性的マイノリティの生徒がいることが考えられるため、発言等に気をつけていきたい。	LGBTについては知っていたが、SOGIは初めて知ったので、私自身も大変勉強になった。授業中だけでなく雑談も含め、改めて発言に注意していきたい。生徒の発達段階によっては、今回の話を受け入れにくい場合もあるので、様々な生徒を想定し、動画視聴する必要があると考えた。	授業や生徒指導では、性的マイノリティは意識した対応をしていきたい。
カミングアウトしたことに感謝を伝え、じっくり話を聞く。今までの出来事での悩みを受け止める。今後の生活への不安を聞き、一緒に考えてみる。												
否定せずに認めることを必ず行い、SOJハラスメントにならないように言動に気をつけて接していくべきだと思います。												
話を最後まで聞き、カミングアウトしてくれたことに対し、「ありがとう」と伝える。学校でどのような対応（服装や接し方など）を望んでいるかを一緒に考え、誰にカミングアウトしているかを確認する。性的な発言や言い回しに気を付ける。												
まずは職員間で連携する。職員間で対策を考える。												
本人の意志を尊重し、人権を傷つけないように接する。												
ソジハラになることをしないように気を付ける。本人の気持ちを受け入れる姿勢で接するまた、本人が望むことを確認しながら、辛さや生きにくさがあるならば、どうすればよいかを、本人・保護者と一緒に考えていく。												
性的マイノリティに関する書籍や掲示物などを目にする機会が多くなってきた。今まで数人ではあるが関わり合いを持ってきたことがある。相手の話を傾聴することでまずは関係を作っていかなければならないと思う。難しさがあるので、研修の必要性を感じる。												
将来的には、このようなアンケート等がなくなり「当たり前」になっていくことが大切なのではないかと感じた。												
性的マイノリティの生徒がいることが考えられるため、発言等に気をつけていきたい。												
LGBTについては知っていたが、SOGIは初めて知ったので、私自身も大変勉強になった。授業中だけでなく雑談も含め、改めて発言に注意していきたい。生徒の発達段階によっては、今回の話を受け入れにくい場合もあるので、様々な生徒を想定し、動画視聴する必要があると考えた。												
授業や生徒指導では、性的マイノリティは意識した対応をしていきたい。												